

【館山市】令和2年度地方創生推進交付金事業 ①「“海辺エリア”への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的：し、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R2担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について) 事務局案（【事業の評価】【今後の方針】）について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・良かった点、良くなかった点 ・改善策、提案、疑問、質問など
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	
1	《景観形成事業》 ①シンボルロード美化事業 ●植栽管理業務委託 ・シンボルロード（館山駅西口広場等） ・鏡ヶ浦通り・北条海岸駐車場	建設課	【執行額】 ① 9,735,000円 ② 9,963,000円 (合計) 19,698,000円 【補助対象額】 19,698,000円 (補助率：1/2) 【交付金充当額】 9,849,000円	《KPI》 観光入込客数 【基準値】 (H27) 163万人 【目標値】 (R2) 205.6万人 【実績値】 (R2) 130.2万人 【達成率】 (R2) 63.3%	【内部評価】 ・相当程度有効であった 【理由・説明】 ・シンボルロードや館山駅西口交通広場は、夏の海水浴シーズンや各イベント等で訪れる観光客が、初めに館山市を感じることができる場所であり、植栽管理を実施することで、観光客はもとより不特定多数の人の目にもとまり、多くの観光客が訪れるきっかけとすることができた。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・館山市を代表する幹線市道で、海辺空間の景観の一部を形成していることから、引き続き植栽管理を実施することにより、美化に努めていく。	
	《景観形成事業》 ②フラワーライン美化事業 ●植栽管理業務委託 ・平砂浦花壇 ・坂足工区 ・布沼工区 ・相浜工区	観光みなと課		《KPI 増加分》 【目標値】 42.6万人 【実績値】 (累計) -32.8万人 【達成率】 (実績/目標) -77.0%	【内部評価】 ・相当程度有効であった 【理由・説明】 ・日本の道100選にも選ばれている館山市のフラワーラインは、夏はマリーゴールド、早春は菜の花が楽しめることから、人気の観光スポットとなっている。 ・植栽を実施したことにより、多くのドライバーなどの観光客や市民が散歩に訪れるきっかけとすることができた。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・フラワーラインは、館山市を含めた南房総地域の人気スポットとなっており、特に春先には多くの観光客や館山市の一大スポーツイベントである若潮マラソン大会の参加ランナーを楽しませていることから、引き続き植栽を実施することにより美化に努めていく。	

【館山市】令和2年度地方創生推進交付金事業 ①「“海辺エリア”への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的とし、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R2担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について) 事務局案（【事業の評価】【今後の方針】）について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・良かった点、良くなかった点 ・改善策、提案、疑問、質問など
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	
2	《海辺の環境改善事業》 ①海岸利用者マナー向上対策 ●海水浴場のマナー向上のための条例禁止事項の周知チラシ及び館山海・浜ルールブックを作成し、利用者へ配布した。	観光みなと課	【執行額】 ① 101,162円 ②10,468,384円 ③ 1,605,665円 (合計) 12,175,211円 【補助対象額】 10,300,000円	【内部評価】 ・非常に有効であった 【理由・説明】 ・関係機関等との合同パトロール実施の際に、作成した条例・ルールチラシを配布し、安心・安全な海・浜空間が保たれた。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により市内の4ヶ所の海水浴場は不開設であったが、館山市の魅力の1つである海岸線エリアの清掃等を継続実施したことにより海岸環境の美化が図られた。また、来訪者が安心・安全に利用できる海岸環境が保たれたことにより、観光振興、地域活性化にもつながった。 ・来訪者の利便性向上や施設の維持管理のため、沖ノ島進入路の整地及び駐車区画の表示等の施工、さらには、駐車場敷地整備工事を実施したことにより、来訪者が安心・安全に利用できる環境が整備された。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・南房総国立公園に指定されている34.3kmの変化に富んだ海岸線は、マリンスポーツや海水浴の適地とされ、館山市の重要な観光資源の一つである。この観光資源を本事業により適切に維持管理することにより、来訪者の増加に繋げていく。 ・今後も海岸清掃活動による環境美化を引き続き実施することで、館山市の魅力を高めていく。 ・沖ノ島は、海の生き物と身近に触れ合うことができ、貴重な自然が残る館山市の「宝」とも言える場所であり、地域外からも多くの来訪がある人気スポットに急成長した反面、駐車場不足やごみの放置などの問題が発生していることから、本事業により来訪者のマナー向上を図っていく。 ・沖ノ島環境保全協力金については、認知度も高まり、協力金額も増加してきているため、引き続きより多くの方に賛同していただけるよう努める。 (令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため協力金徴収を未実施)		
	《海辺の環境改善事業》 ②海岸美化対策 ●ビーチスポーツや夏の海水浴の適地となっている館山市の良好な海岸環境を保つため、会計年度任用職員による通年の海岸清掃に取り組んだ。	観光みなと課	【交付金充当額】 5,150,000円				
	《海辺の環境改善事業》 ③沖ノ島環境保全事業 ●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、進入ゲートを閉鎖した。(閉鎖期間：R2.4/24～9/30) ●来訪者の利便性向上のため、沖ノ島進入路の整地及び駐車区画の設置に必要な資材を購入するとともに、設置工事を実施した。	観光みなと課					
3	《航路利用促進事業》 東京～館山航路 利用者増加施策 ●航路を利用した交流人口の増加を図るため、客船等歓迎委員会への委託により、東京～館山航路を活用した春の館山観光PR等を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大のため高速ジェット船春の季節運航が全便運休となった。	観光みなと課	【執行額】 2,260,919円 【補助対象額】 2,260,919円 (補助率：1/2) 【交付金充当額】 1,130,459円	【内部評価】 ・相当程度有効であった 【理由・説明】 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、高速ジェット船の春の季節運航は中止となり実績値は減少したが、それ以前は増加傾向にあったことから。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・これまで交付金事業として5年間継続し、東京～館山航路の周知が図られてきたことから、事業内容を検討しながら継続して実施します。		

【館山市】令和2年度地方創生推進交付金事業 ①「“海辺エリア”への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的とし、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R2担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	
4	<p>《恋人の聖地事業》</p> <p>東京湾フェリー活用事業 ●「恋人の聖地」を活用した交流人口の増加を目指すため、宿泊・滞在型観光推進協議会（構成団体：安房地域3市1町及び富津市）や株式会社東京湾フェリーと連携し、恋人の聖地企画イベントを実施した。</p>	観光みなと課	<p>【執行額】 1,100,000円</p> <p>【補助対象額】 1,100,000円 (補助率：1/2)</p> <p>【交付金充当額】 550,000円</p>		<p>【内部評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・南房総地域の強みである自然等を活かした体験プログラムを組み合わせたモニターツアーの実施や各種体験プログラム等を一元化して紹介するWEBページの作成・情報発信をすることで、南房総地域の魅力がより一層高められ、観光客のリピーターや宿泊増に繋がることが期待される。 ・また、KPIと実績値との差異については、今般の新型コロナウイルスの感染拡大により人の流入が減少した影響がある。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・本事業は、館山市はもとより、南房総地域の自然・歴史・文化・グルメ等の観光資源を組み合わせ、ブラッシュアップし、魅力を情報発信し続けていくことで、観光入込客数及び宿泊客数の増加に繋げていく。</p>	事務局案（【事業の評価】【今後の方針】）について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・良かった点、良くなかった点 ・改善策、提案、疑問、質問など
5	<p>《海辺の賑わい創出事業》</p> <p>海まちフェスタ ●館山湾を活用した海辺のまちづくりイベント「たてやま海まちフェスタ」を同実行委員会への委託により実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。</p>	観光みなと課	<p>【執行額】 - 円 (合計) - 円</p> <p>【補助対象額】 - 円 (補助率：1/2)</p> <p>【交付金充当額】 - 円</p>		<p>【内部評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・令和2年度は中止となったが、本イベントは館山湾を活用した海辺のまちづくりイベントとして周知され、参加者も増加傾向にあるため。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・新型コロナウイルス感染症の収束後も市外の方へ海の魅力を発信可能なイベントとして継続していく。</p>	

【館山市】令和2年度地方創生推進交付金事業 ①「“海辺エリア”への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的とし、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R2担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	
6	<p>《海を活かした雇用創出事業》</p> <p>①企業・起業支援 ●市内において起業する個人に対して、事業所等の開設に要する経費等の一部を補助し、産業の振興を図った。</p> <p>②企業誘致トップセールス ●市内経済の発展及び雇用の場の確保を図るため、企業誘致の実現に向けたトップセールスを予定していたが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ実施に至らなかった。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 2,802,000円</p> <p>【補助対象額】 2,802,000円 (補助率：1/2)</p> <p>【交付金充当額】 1,401,000円</p>	<p>《KPI》 企業誘致件数</p> <p>【基準値】(H27) 0件</p> <p>【目標値】 10件(年2件)</p> <p>【実績値】(R2) 1件</p> <p>【達成率】(R2) 10.0%</p> <p>《KPI 増加分》 【目標値】 10件</p> <p>【実績値】(累計) 1件</p> <p>【達成率】(実績/目標) 10.0%</p>	<p>【内部評価】 ・ある程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・起業時の支援を行うことにより、起業のタイミングに悩む起業予定者の後押しができた。 ・移住者による起業が、地域経済の活性化や雇用の創出につながっている。 ・企業誘致補助金は申請自体が無く、本補助金による企業誘致が実現できなかった。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の見直し</p> <p>【理由・説明】 ・起業支援補助金については、地方創生臨時交付金を活用して、令和3年度も引き続き実施していく。 ・これまで企業誘致補助金の活用実績が無かったことから、令和3年度は、コワーキングスペースなどの開設に係る改修費等の一部を助成する内容に見直しを行う。 ・新型コロナウイルスの感染状況も踏まえながら、企業誘致に繋げるためのアプローチを実施していく。</p>	事務局案(【事業の評価】【今後の方針】)について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・良かった点、良くなかった点 ・改善策、提案、疑問、質問など
7	<p>《海の魅力による移住定住施策》</p> <p>①移住支援 ●移住・定住者の増加による地域の活性化を図るため、都市部からの移住希望者に対する相談業務をNPO法人おせっ会への委託により実施した。</p> <p>《空き施設情報管理・移住施策イベント》 ●移住・定住促進事業の更なる推進のため、移住相談業務を行うNPO法人おせっ会への委託により、オンラインによる移住セミナーの開催や、空き家バンク制度の周知等を図った。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 4,605,000円</p> <p>【補助対象額】 4,605,000円 (補助率：1/2)</p> <p>【交付金充当額】 2,302,500円</p>	<p>《KPI》 移住者数</p> <p>【基準値】(H27) 58人</p> <p>【目標値】 358人(年60人)</p> <p>【実績値】(R2) 298人</p> <p>【達成率】 83.2%</p> <p>《KPI 増加分》 【目標値】 300人</p> <p>【実績値】(累計) 240人</p> <p>【達成率】(実績/目標) 80.0%</p>	<p>【内部評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・移住相談業務を実施し、235件(窓口：232件、イベント：3件)の相談を受け、20世帯・43人(おせっ会把握数)の移住が実現した。 ・新型コロナウイルスの感染状況により、対面での移住セミナーは開催できなかったが、代替として実施したオンラインによる開催の成果もあり、前年度と比べて大きな落ち込みはなかった。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・令和3年度も、引き続きNPO法人おせっ会による移住相談業務を実施するとともに、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえながら、YouTubeチャンネル等を利用したオンラインによるイベント・情報発信を実施していく。</p>	

【館山市】令和2年度地方創生推進交付金事業 ②「関係人口を活用したリノベーションまちづくり事業」効果検証データシート

館山市内の建物や空間のリノベーションを進めるとともに、地域の求人と求職者の希望する仕事とのミスマッチを解消するため、まずはIT系企業の合宿等を誘致することなどにより、地域に関わる人々の意識改革や新たな仕事の創出につなげる。また、新たな働き方の提案を通じ、関係人口を含む若者がチャレンジ・定着できるための支援を行い、まちの活性化と賑わいの創出を目指す。

事業No.	事業概要	R2担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	
1	<p>《リノベーションまちづくり推進事業》</p> <p>●館山駅周辺地域等の空き店舗や未利用地を有効活用し、まちなかの未利用不動産の新しい使い方と起業希望者などの担い手をマッチングさせ、中心市街地の活性化を図るため、リノベーションスクールを開催した。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 9,314,430円</p> <p>【補助対象額】 9,314,430円 (補助率：1/2)</p> <p>【交付金充当額】 4,657,215円</p>	<p>《KPI》 ①チャンネル登録者数</p> <p>【基準値】(R1) 171</p> <p>【目標値】(R4) 2,521</p> <p>【実績値】(R2) 955</p> <p>【達成率】(R2) 183.3%</p> <p>《KPI 増加分》 【目標値】 2,350</p> <p>【実績値】(R2) 784万人</p> <p>【達成率】(実績/目標) 33.4%</p>	<p>【内部評価】 ・ある程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・令和2年度末時点において、館山駅東口エリアの空き店舗を活用し、新たに事業を開始した店舗等はないが、リノベーションスクールの開催をきっかけとして、館山市のまちづくりに参加していただく新たな人材やネットワーク、コミュニティの構築が図られてきている。 ・令和元年度に総務省『関係人口創出・拡大事業』モデル事業補助金の採択を受けて開催した「第1回リノベーションスクール@館山」卒業生による開業の動きもみられており、これまでのリノベーションまちづくりの取組が実を結びつつある。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・「リノベーションまちづくり事業」は、第4次館山市総合計画『後期基本計画』の重点プランにも位置付けられており、まちづくりの担い手となる人材の輩出及び遊休不動産の活用を目指し、地域の方々との連携を深めながら、令和3年度も事業を継続していく。</p>	<p>事務局案（【事業の評価】【今後の方針】）について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・良かった点、良くなかった点 ・改善策、提案、疑問、質問など</p>
2	<p>《企業誘致推進事業》</p> <p>●都市部だけではなく、地方でもインターネット環境さえ整えば海辺や森林等の自然環境の中で仕事ができることを体験してもらい、それぞれのライフスタイルやワークスタイルを考えるきっかけづくりとして、『Living Anywhere Week（リビング エニウェア ウィーク）』のオンライン開催等を行った。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 500,000円</p> <p>【補助対象額】 500,000円 (補助率：1/2)</p> <p>【交付金充当額】 250,000円</p>	<p>《KPI》 ②事業を開始した店舗等</p> <p>【基準値】(R1) 3</p> <p>【目標値】(R4) 30</p> <p>【実績値】(R2) 0</p> <p>【達成率】(R2) 0.0%</p> <p>《KPI 増加分》 【目標値】 27</p> <p>【実績値】(R2) 0万人</p> <p>【達成率】(実績/目標) 0.0%</p>	<p>【内部評価】 ・ある程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・Living Anywhere Week ONLINE in 館山は対面形式での開催が叶わず、新規雇用者数の増加には結びついていないが、東京都、静岡県、長野県、沖縄県などさまざまな地域に住む参加者が、今後の館山でのリモートワークや移住の可能性について活発な議論が交わされ、オフラインにも劣らない地域と人との交流ができることを確認できた。 ・館山にいても東京を含め、バーチャル空間上で世界と繋がってコミュニケーションが取れることを確認し、今後の施策充実に向けた選択肢を広げることができた。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の見直し（改善）</p> <p>【理由・説明】 ・新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえた中でこれまでの取組を継続しつつ、IT系企業の誘致に有利な地域となるための人材育成として、地元高校生との連携も模索しながら、効果的な事業展開を図っていく。</p>	

【館山市】令和2年度地方創生推進交付金事業 ②「関係人口を活用したリノベーションまちづくり事業」効果検証データシート

館山市内の建物や空間のリノベーションを進めるとともに、地域の求人と求職者の希望する仕事とのミスマッチを解消するため、まずはIT系企業の合宿等を誘致することなどにより、地域に関わる人々の意識改革や新たな仕事の創出につなげる。また、新たな働き方の提案を通じ、関係人口を含む若者がチャレンジ・定着できるための支援を行い、まちの活性化と賑わいの創出を目指す。

事業No.	事業概要	R2担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	
3	<p>《関係人口創出・拡大推進事業》</p> <p>●豊かな自然と都心への近接性という特徴を持った館山市における関係人口の定義を整理・検討し、ターゲットの絞り込みを行った。 ・関係人口の測定や創出・拡大を目的として、令和2年12月から、館山市公認YouTubeチャンネル『館山TV』の配信を開始し、移住や仕事体験等をテーマに、計38本の動画コンテンツを作成・情報発信した。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 2,115,000円</p> <p>【補助対象額】 2,115,000円</p> <p>【交付金充当額】 1,057,500円</p>	<p>《KPI》 ③増加した新規雇用者数</p> <p>【基準値】(R1) 0</p> <p>【目標値】(R4) 79</p> <p>【実績値】(R2) 0</p> <p>【達成率】(R2) 0.0%</p> <p>《KPI 増加分》 【目標値】 79</p> <p>【実績値】(R2) 0</p> <p>【達成率】(実績/目標) 0.0%</p>	<p>【内部評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・現時点で十分とまでは言えないが、チャンネル登録者数は当初の目標を上回る結果となった。 ・動画コンテンツは民間によるアイデアに基づいて制作し、将来的な事業の自立化を見据えた取組を展開している。 ・YouTube上では、館山市に居住していない方から「興味がある」というコメントを頂戴している。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・令和3年度も事業を継続し、令和2年度のシリーズに加え、タイムリーな市政情報等の紹介や、館山で活動する人材やこれから活躍が期待される若者にスポットを当てた対談企画を予定している。</p>	<p>事務局案（【事業の評価】【今後の方針】）について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・良かった点、良くなかった点 ・改善策、提案、疑問、質問など</p>